



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

平成27年 3月12日

福島河川国道事務所

『本宮拡幅』全線開通後の整備効果 ～ 地域活性化や救急医療活動等を支援 ～

国道4号本宮拡幅は昭和56年8月の一部4車線開通から順次拡幅工事を進め、平成21年3月の開通をもって全線8.9kmの4車化が完成し、福島市～郡山市間の全線4車線開通となりました。

今回、開通後の整備効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

①企業立地による地域活性化や救急医療活動等を支援

■沿線の工業団地で企業立地が進み、工業団地分譲率が81%に上昇、製造品出荷額は約4.7倍に増加し、地域産業促進に寄与

■安達消防管内の迅速かつ安定した救急搬送に寄与

②渋滞箇所(4箇所)が全て解消し、走行速度が向上することより都市間流動が活発化

■最大渋滞長 1,200m(H20) ⇒ 120m(H25)に減少 ※柎記念病院前

■走行速度 20.3km/h(S55) ⇒ 35.8km/h(H25)に向上

■郡山～福島間の所要時間 115分(S55) ⇒ 71分に短縮(44分短縮)
通勤利用者が3,900人 ⇒ 6,100人に増加(1.6倍)

発表記者會〈福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024(546)4331(代)

あかさか ひろし

副所長(道路) 赤坂 浩(内線205)

いがらし しゅんいち

調査第二課長 五十嵐 俊一(内線451)

事業の目的と概要

○事業目的

- ・国道4号の交通混雑の解消、交通安全の確保
- ・沿線の工業団地へのアクセス向上、地域間交流促進による地域振興

○計画概要

起終点 : 自: 福島県本宮市荒井字陣場
 至: 福島県安達郡大玉村
 大山字堂ヶ久保

延長、幅員 : L=8.9km、W=25.0m

道路規格、設計速度 : 第3種第1級、V=80km/h

事業化 : 昭和53年度(本宮工区)

事業変更(区間延伸) : 平成14年度(大玉工区)

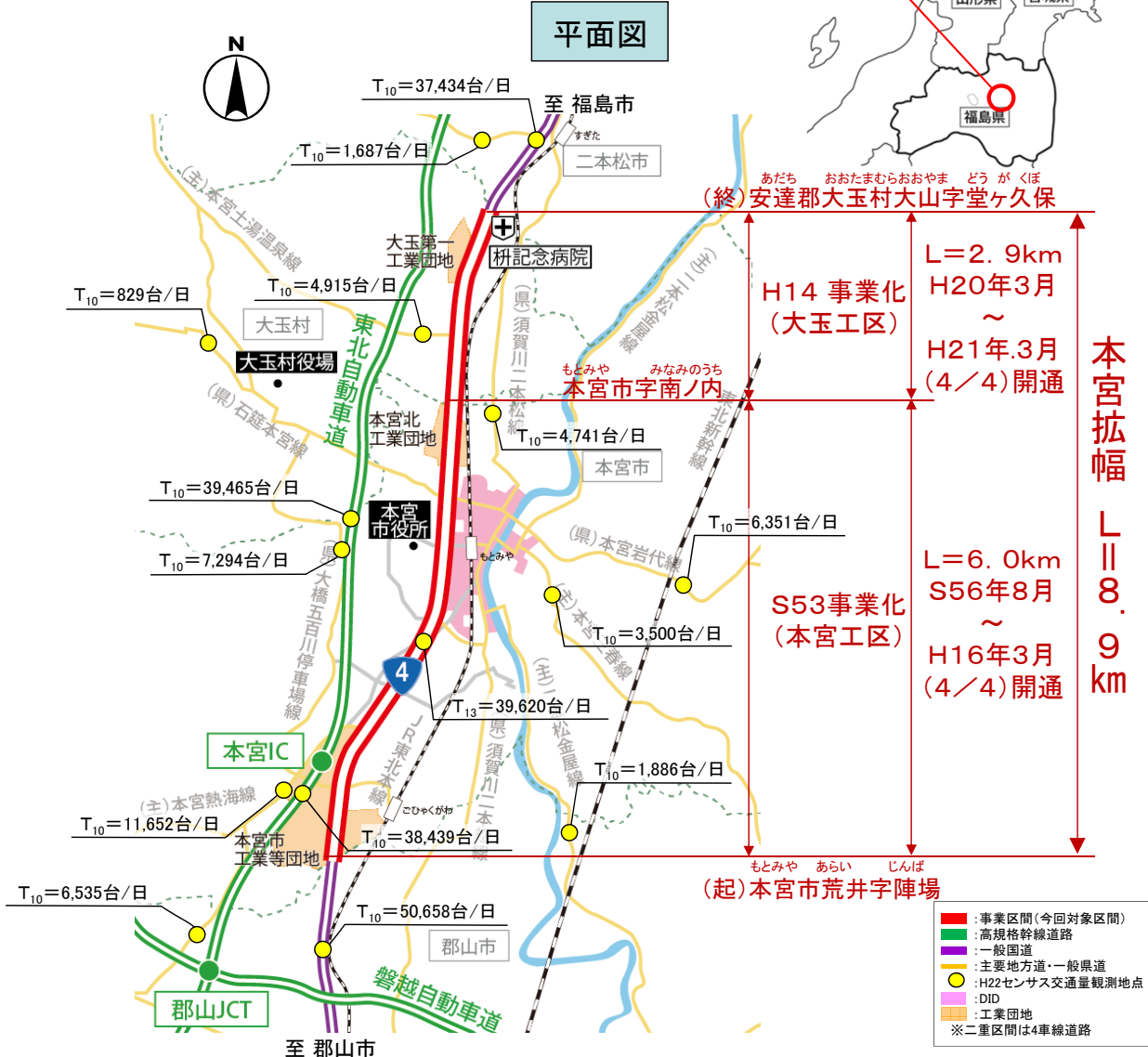
工事着手 : 昭和55年度

全線開通年度 : 平成20年度(平成21年3月)

位置図



本宮拡幅



整備前



▲開通前【国道4号(戸崎ロータリー部)】(H13)

整備後

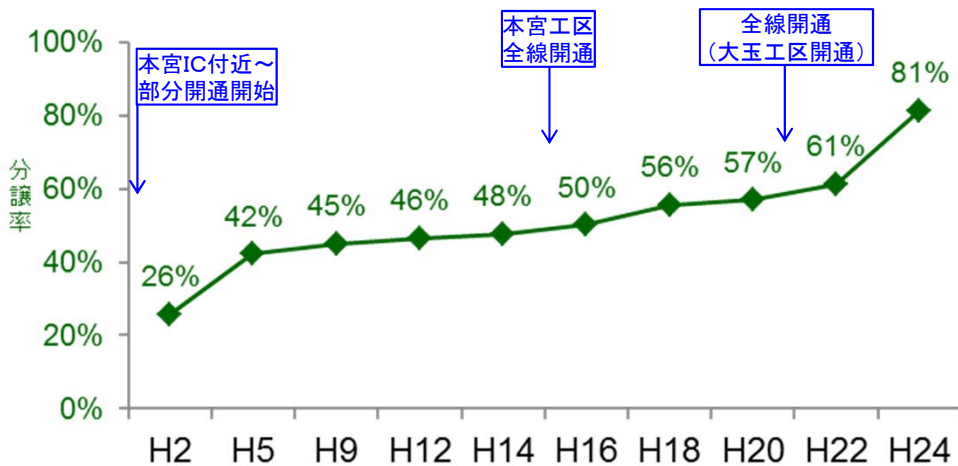


▲開通後【国道4号(戸崎ロータリー部)】(H25)

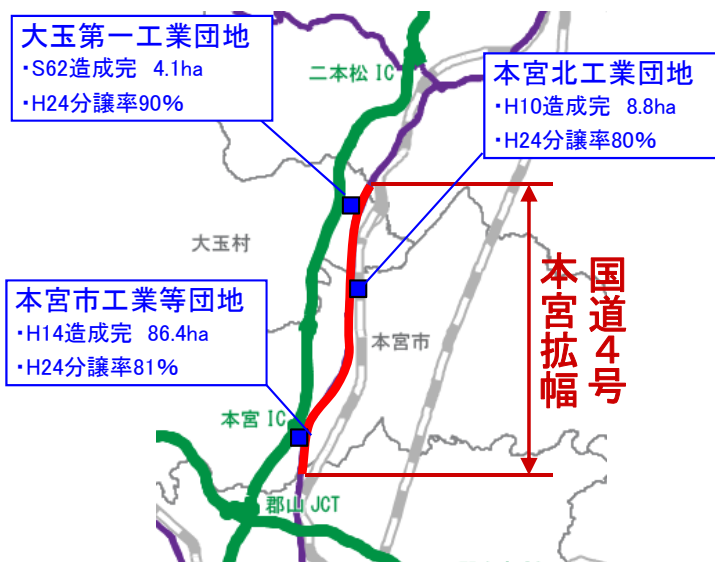
事業効果の発現状況 地域産業の促進

- ◆沿線の工業団地では企業立地が進み、分譲率は26%から81%まで上昇
- ◆製造品出荷額は約4.7倍に増加し、地域産業の促進に寄与

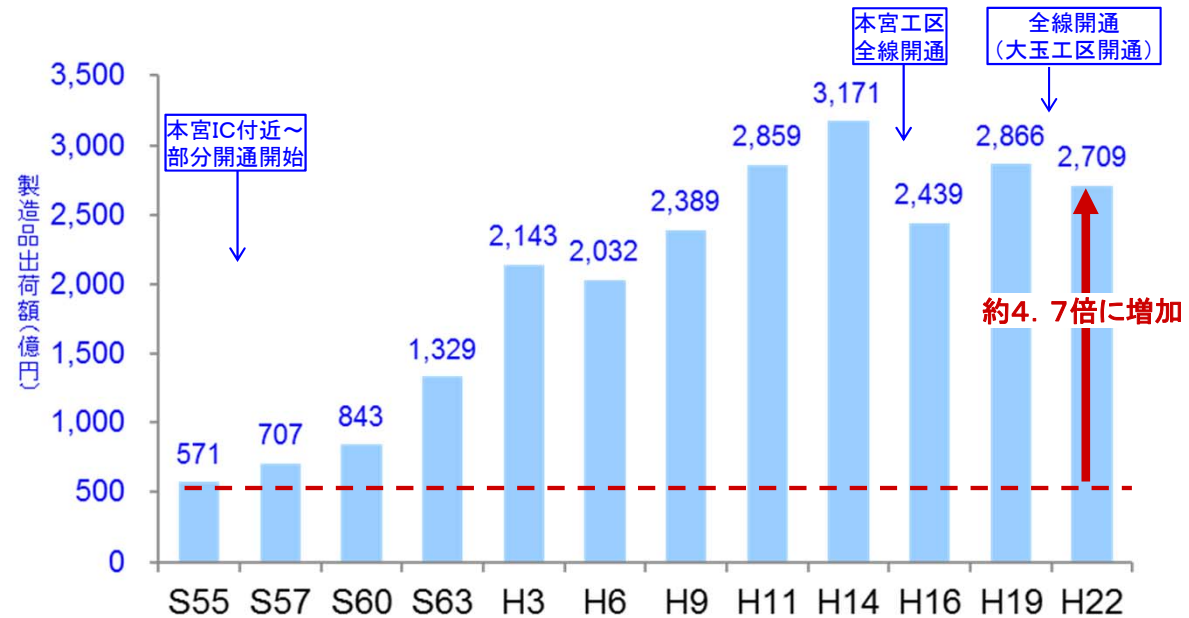
▼沿線工業団地の分譲率の推移



※分譲率は下図に示す本宮市工業等団地、本宮北工業団地、大玉第一工業団地の合計値



▼製造品出荷額の推移



※製造品出荷額本宮市と大玉村の合計値

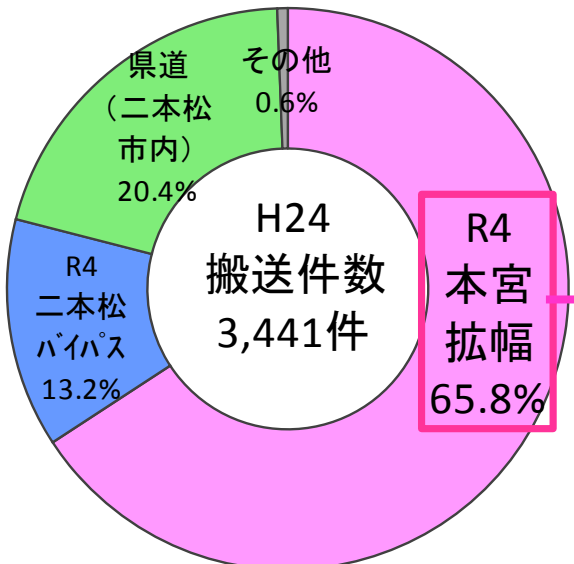
資料：工業統計

- ・本宮拡幅の整備により、本宮 I C へのアクセス性が向上し、約20年前から50社以上の企業が進出、雇用創出につながった。
(H25.9 本宮市役所)
- ・国道4号の4車線化で交通アクセスが向上し、大型商業施設の誘致、企業立地につながるなど地域経済力が高まった。
(H25.9 大玉村役場)

事業効果の発現状況 救急搬送の支援

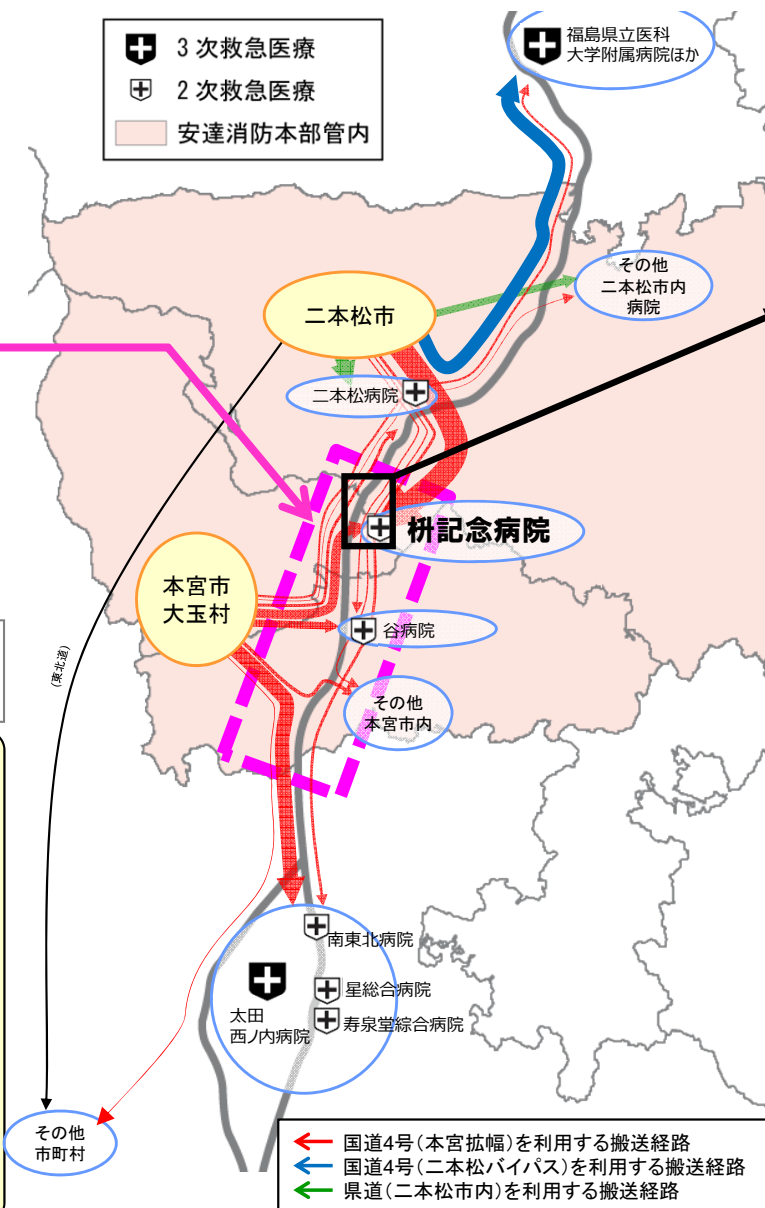
- ◆ 安達消防管内で発生した全救急搬送件数の約7割が国道4号本宮拡幅区間を利用している
- ◆ 安達消防管内の救急搬送で最も利用されてる当該区間の渋滞が解消し、迅速かつ安定した救急搬送に寄与

▼ 安達消防管内の救急搬送で使われる経路割合



※安達地方広域消防本部より、管内の救急搬送について、病院毎に件数と経路を確認し、算出。(全搬送件数はH24.1月～12月で3,441件)

▼ 安達消防署管内発生地の救急搬送経路



▼ 国道4号 柘記念病院前の渋滞状況変化 (朝ピーク)

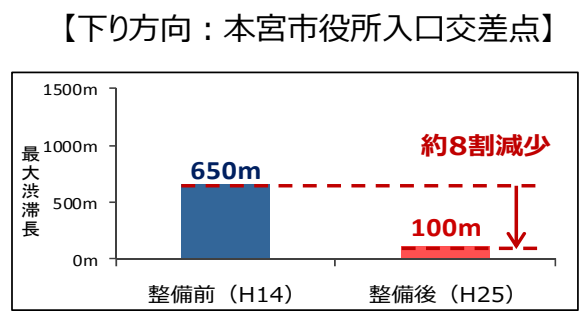
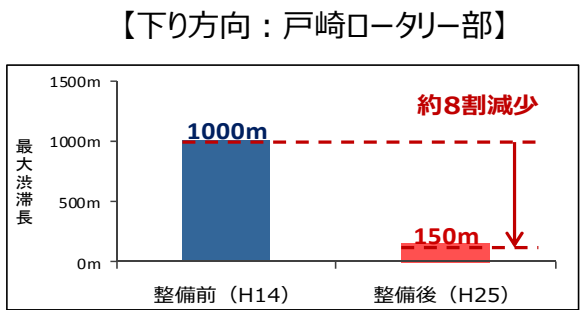
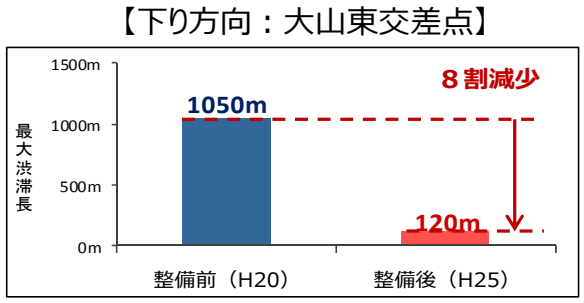
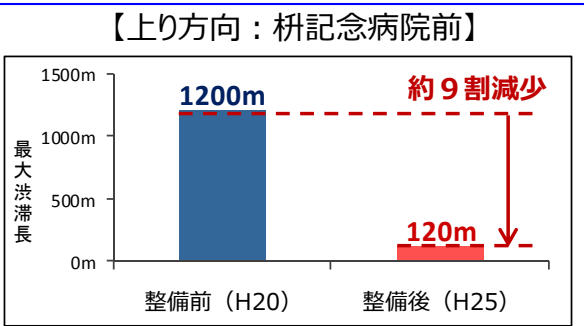


〈地元救急搬送機関の声〉

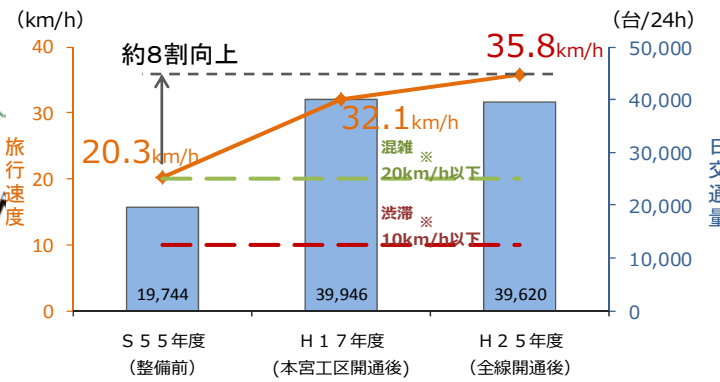
- ・整備前は混雑時に遠回りとなる裏道に迂回し搬送していたことがあったが、4車線化後はその必要がなくなった。(H25.9安達地方広域消防本部)
- ・整備前は渋滞時に対向車線を走行したが、4車線化後はその必要がなくなりドライバーの負担が軽減した。(H21安達地方広域消防本部南消防署)

事業効果の発現状況 渋滞の解消及び走行性の向上

- ◆本宮拡幅の開通により、渋滞箇所が全て解消
- ◆4車線拡幅により、混雑する朝の通勤時間帯でも旅行速度が約8割向上



▼混雑時旅行速度と日交通量の経年変化 (国道4号：本宮市内)



資料：旅行速度は道路交通センサ（S55、H17）、民間プロブデータ（H25.10 平日7：00-9：00 上下平均）
 交通量は道路交通センサ（S55、H17）、県警トラカンデータ（H25.10 平日平均）
 ※：公益財団法人 日本道路交通情報センター

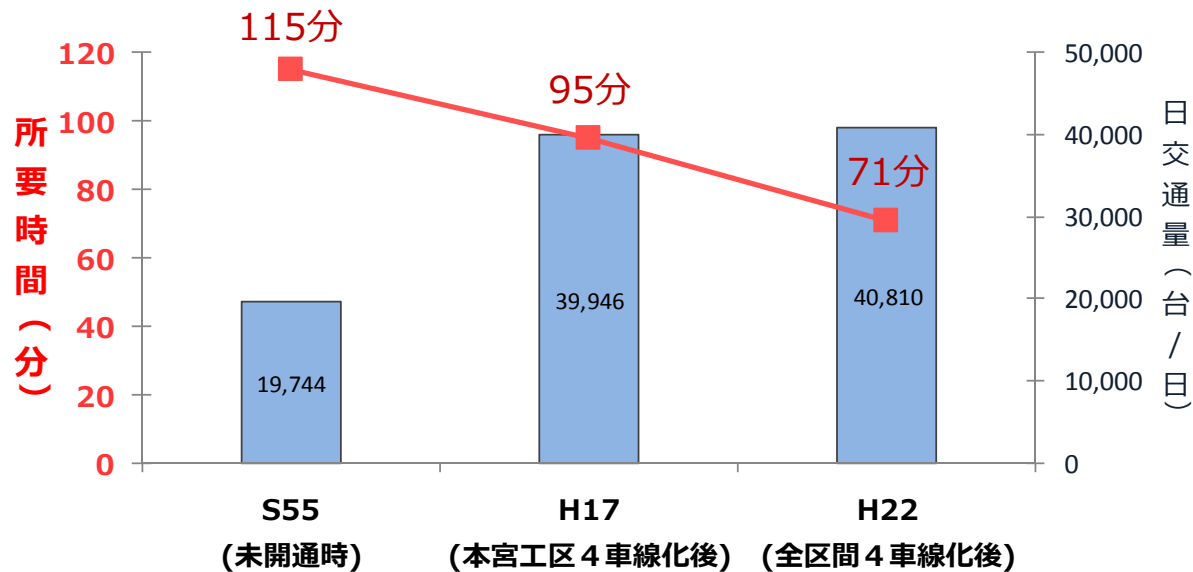
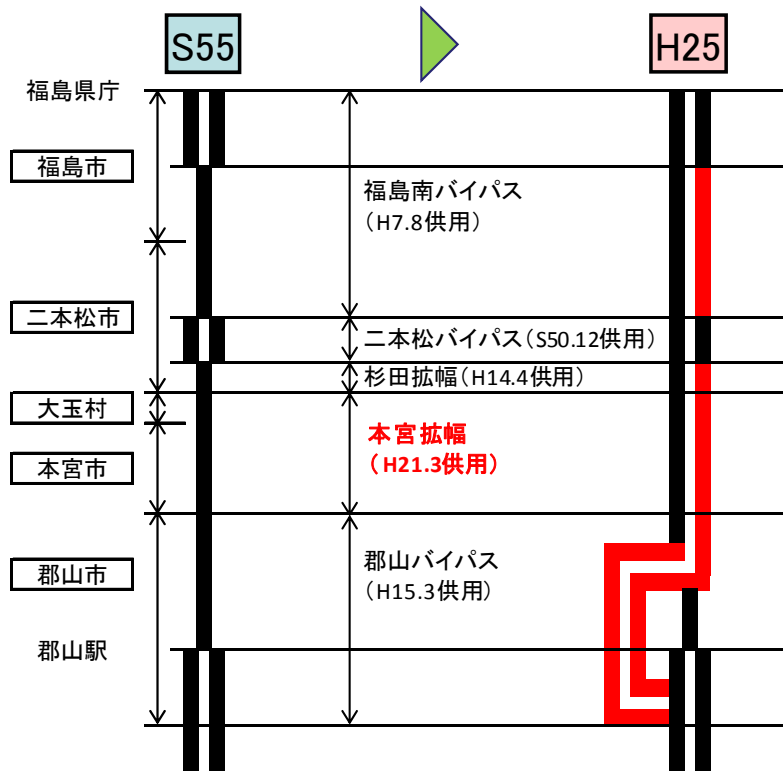
＜周辺自治体関係者の声＞
 ・国道4号大玉工区の4車線化により、慢性化していた渋滞が見られなくなった。ラジオで渋滞情報が放送されなくなった。
 (H25.9 大玉村役場)

＜道路利用者の声＞
 ・2車線の時は柵記念病院前で常に渋滞していましたが、4車線になってからは渋滞もなくなり、通勤時間が短縮されました。
 (H22 大玉村在住会社員)

事業効果の発現状況 都市間流動の活発化

- ◆ 郡山～福島間では、本宮拡幅の開通で全線が4車線となり、所要時間が大幅に改善
- ◆ 郡山～福島間の通勤流動は4車線化整備とともに約1.6倍に増加し、通勤ルートとしての利便性が向上

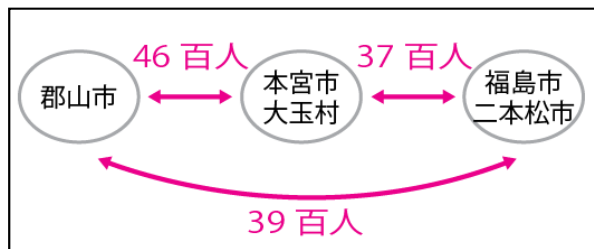
▼ 国道4号（福島～郡山間）の整備状況の変化 ▼ 国道4号のピーク時所要時間（郡山～福島間）と日交通量（本宮市）の推移



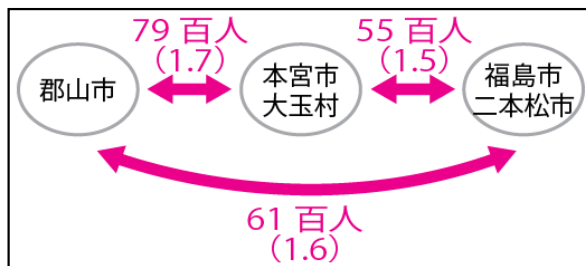
※ ・グラフは道路交通センサ調査年で構成
 ・ピーク時所要時間は各年道路交通センサの延長にピーク時旅行速度データを乗じて算出 (起終点は郡山市役所～福島市役所間)
 ・日交通量は各年道路交通センサ

▼ 通勤流動の変化

【H2年度】 (本宮拡幅事業化前)



【H22年度】 (本宮拡幅完成後)



【利用者の声】

○ 整備前は、仕事で福島に行く際に渋滞で、約束時間に遅れたり、渋滞を見越して早めに出発していたが、整備後はスムーズに車を走らせることができるようになり、早く到着できるようになった。渋滞のストレスもなく快適。

(30代女性)

○ 渋滞の解消で福島市が近く感じられた。

(40代男性)

○ 渋滞が緩和され出かける機会が多くなった。

(30代女性)

資料：国勢調査

資料：H21年度 地元住民アンケート調査 (福島河川国道事務所)

《参考》 開通経緯

